

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
平成14(2002)年度第1回相互協力委員会議事録

日 時：2002年4月18日(木)午後1時30分～午後5時

場 所：愛知学院大学 法人本部棟 会議室

出席者：長坂功(愛知大学) 足立祐輔(愛知学院大学) 加藤直美(愛知工業大学)  
中上恵子(愛知みずほ大学) 酒井麻里(金城学院大学) 浜野五鈴(鈴鹿医療科学  
大学) 小川光男(中京大学) 疋田幸世(中部学院大学) 加藤富美(南山大学)  
石川宗臣(日本福祉大学) 蓑島智子(中部大学)

計11名

記 録：蓑島智子(中部大学)

【報告事項】

委員長により2001年度第3回常任幹事会の報告が下記の通り行われた。

1. 2001年度相互協力委員会決算(案)及び2002年度予算(案)について  
常任幹事会で承認された。  
・2002年度実務担当者研修会参加費の1000円値上げについては認められなかったが、事業費の方での増額を提案してはどうかという意見も出されたとのこと。
2. 共同トライアルについて実施が承認された。
3. 東海地区横断検索等に関するアンケートについて実施が承認された。  
・なお調査票については項目・内容等をメールで確認修正を行ない、4月16日に発送したと委員長より報告があった。
4. 研究助成「レファレンス・コンソーシアムの有効性に関する実証実験」の「レファレンス事例集」「掲示板」について1年間相互協力委員会で継続することが承認された。

【協議事項】

1. 2001年度相互協力委員会決算・2002年度予算(案)について  
上記について委員長から資料にもとづき説明があった。  
\*なお配布資料について訂正があり、「2001年度相互協力委員会予算(案)」を「2002年度相互協力委員会予算(案)」とし、細部を今年度予算の内容に差し替えた。修正版が委員長より配布されることとなった。
2. 2002年度相互協力委員会開催日程について  
今年度委員会開催日程・会場について下記の通り決定した。なお第4回、第6回については、情報化委員会との合同会議が予定されるため両委員会で調整を行なうこととする。

第2回	2002年	5月15日(水)	午後1時～	会場：中部学院大学(予定)
第3回		7月17日(水)又は18日(木)	午前10時～	
				会場：中京大学(八事)(予定) *研修会の下見も行なう
第4回		9月	合同委員会	会場：愛知工業大学 午前10時～
第5回		11月	第3週	午後1時～ 会場：愛知みずほ大学
第6回	2003年	2月	合同委員会	午後1時～ 会場：鈴鹿医療科学大学

### 3. 2002年度活動計画について

1) 2002年度活動計画について委員長より説明があった。何を重点的に行なうのかを中心に協議を行ない、下記のような意見が出された。

- ・相互協力委員会ホームページの充実を図りたい。
- ・今年度は実務担当者研修会があり、また横断検索等に関するアンケートの集計や研修会のまとめがある上で、その他に重点的というのはと他に何をという気になる。
- ・今進んでいることが片付くような形で取り組んだらどうか。
- ・アンケートにどこまで取り組みどのようにまとめるのか。
- ・やったことをきちんとアップしていけばホームページは充実する。

2) OPAC 横断検索/相互貸借物流アンケートの実施と報告について

このアンケートを相互協力委員会で取り扱うこととなった経緯について改めて委員長から説明があったが、委員会としてもなんらかの回答ができる形で責任を持って行いたいということであった。どこまで委員会が関わっていくかについて協議され、下記のような意見が出された。

- ・ 委員会は諮問機関であるので、集約したものを理事校、幹事会に報告し、終了するのが妥当である。
- ・ 結果をこの先加盟館にどのように生かすのか常任幹事会に投げた方がよいのではないか？
- ・ 回答するにも集約するにも労力がかかることであるので無駄にしてはならない。
- ・ ある程度集約したものをホームページで公開したらどうか？
- ・ 今後は依頼を受ける点についても幹事会を通して行なうべきである。
- ・ 意味あるアンケートであり委員会で扱うにふさわしいテーマであるので、地区に生かせるようまとめていきたい。
- ・ 今後理事校がどのように関わってくれるのか確認する必要がある。

以上の点をふまえて横断検索のワーキンググループで今後どのように扱うか確認することとなった。

3) データベース共同トライアルの実施について

上記について委員長から資料に基づき説明があった。

委員会としては、ホームページ上でのデータベース共同利用の実施や、業者プレゼンテーション及び参加館と業者との意見交換会を企画することが確認された。

4) 助成研究の一部継続について

委員会の事業として一部継続が常任幹事会でも承認されたが、サーバーについては愛知大学から移行し、協議会のサーバーを使わせてもらえるよう、情報化委員会の方にも提案・協議することとなった。

### 4. 相互協力実務担当者研修会（案）について

上記について委員長から資料に基づき説明があり、協議が行われた。

- ・ 15000円の参加費で会計素案を作成したが、研修会事業費にて増額依頼を考えている。
- ・ 講演 仁上幸治氏（早稲田大学）(確定)
- ・ 講演 「話し方講座 情報リテラシー教育を行なう図書館員にとって必要なノウハ

ウ」については森よしこ氏（NHK 俳優）を候補とし、条件の範囲内で引き受け  
てくださるか中上委員に折衝してもらうこととなった。

- ・ 山手ホールでビデオ「新・図書館の達人」の上映を行なう。
- ・ 業者デモについては日外アソシエーツにMAGAZINEPLUSの使い方の講習を行な  
ってもらう。日外アソシエーツとの交渉は加藤富美委員が担当することとなった。
- ・ タイムスケジュールについては第1日目に下記の変更があった。

ビデオ上映会を10:20~にする。よって以下のプログラムが1時間づつ繰り下げ  
られる。

\* 合同委員会終了後に分科会担当を下記のように決定した。

なお5月15日までに分科会でサブタイトル等を考えておくこととなった。

A 分科会「IT 講座（職員研修）」加藤直美、加藤富美、浜野、蓑島

B 分科会「レファレンス」足立、長坂、酒井

C 分科会「利用者教育」小川、中上、疋田、石川

#### < 2002 年度第1回情報化委員会・相互協力委員会合同委員会 >

##### 1. 相互協力委員会 2002 年度活動計画報告

今年度の主たる活動スケジュール、内容について簡潔に報告された。

##### 2. 情報化委員会 2002 年度活動計画報告

今年度の主たる活動スケジュール、内容について簡潔に報告された。

##### 3. 2002 年度開催日程等について

合同委員会の日程と会場について検討し、下記の通り決定した。

第2回 2002年9月25日（水）又は27日（金）愛知工業大学

第3回 2003年2月（予定） 鈴鹿医療科学大学

##### 4. 助成研究の一部継続について

長坂委員長より実験を相互協力委員会で引き続き行なうことが報告された。

加藤直美委員から実験の部分的継続に伴い、愛知大学のサーバーから地区のサー  
バーへの移行について確認及び提案があった。この点について契約上もまた容量  
的にも問題はないと情報化委員会笹山委員長から回答があった。また有償のデー  
タベースについては日外アソシエーツより5月まで公開が許可された点につい  
ても加藤委員から報告があった。

##### 5. 東海地区協議会ホームページについて

- ・ 笹山委員長よりいかに情報収集してアップするかが大切であるので、情報化委  
員会では、加盟館ごとに担当を決めて情報収集にあたっている。各委員におい  
ても所属図書館についての情報を積極的に提供してほしいという呼びかけが  
あった。

- ・ リンク集については、データのメンテナンスの件も含めて今後どうするのか9  
月の合同委員会までに各委員会で検討することとなった。

- ・ 昨年度の研究会で扱われた「一般開放」について、東海地区の状況が判るよ  
うにデータを維持・更新していく必要があるのではないかという提案があり、こ  
の点について相互協力委員会でどのように引き継ぐのか次回9月の合同委員  
会までに検討することとなった。

##### 6. その他

試行メーリングリストについては、現時点での運用環境および方法、今後の予

定について情報化委員会より説明があった。総会で正式運用として承認してもらえるよう幹事会に申請しているかどうかという質問に対しては、笹山委員長より5月7日の常任幹事会で理事校から提案してもらう予定であるという回答があった。

以上